



Jichi 地域連携ニュース

- ・患者サポートセンター長就任のご挨拶 … 西野 宏
- ・隋感 …………… 岡 徳彦
- ・「仕事に関すること」病院で相談できます
- ・治療と仕事の両立に関する相談会
- ・自治医科大学附属病院医師同門会について
- ・FAXによる患者様紹介について

患者サポートセンター長就任のご挨拶

附属病院 副病院長
耳鼻咽喉科 教授 西野 宏



森澤雄司先生の後任として患者サポートセンター長を拝命した西野宏でございます。将来の人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化や労働力人口の減少を考慮し、質の高い医療を効率的に提供できる体制を構築し維持するために、医療機関の機能分化・連携を進めていく必要性が2018年厚生労働省より提言されました。こうした観点から、各地域における2025年の医療需要と病床の必要量について、医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとに推計し、「地域医療構想」

として策定が行われてきました。しかし病床の機能分化・連携に向けた協議は難航し、道半ばの状態の現実が存在しました。さらに2019年からのCOVID-19により、地域の救急医療のみならず通常診療の維持さえもが困難となり、地域医療を支える医療体制の脆弱さが浮き彫りとなった今日があります。その一方で、COVID-19蔓延下の医療体制の構築を行うにあたり、行政・地域中核病院・診療所・医師会の皆様と協議をする場が以前より多くなり、地域医療を支える連帯感が生まれつつ環境変化が生じつつあります。

附属病院が基本的な理念の一つとして掲げる「地域と連携する医療」を実践するため、患者サポートセンターはきわめて重要な部署であります。高度な医療技術を提供するのはもちろんのこと、患者の皆さんが安心して医療を受けていただき、急性期医療後の療養を地元の医療機関や在宅支援が受けられる一連の流れを皆様方と共に構築をいたしたいと思っております。「顔の見える関係」で入退院支援・看護支援・医療福祉・地域医療連携を進め、地域の病院・診療所や長期療養施設・医師会・行政と密接に連携していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

隋 感

とちぎ子ども医療センター 小児・先天性心臓血管外科 教授 岡 徳彦



みなさんはじめまして、自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児・先天性心臓血管外科の岡徳彦です。ご縁がありこのたび2021年4月より自治医大に赴任いたしました。まずは自己紹介からさせていただきます。現在49歳、妻、3人の子ども（高1長女、中2長男、小6次男）の5人家族です。家族は横浜にあり、単身赴任8年目になります。こちらの職員住宅ではヒガシヘルマンリクガメ（推定2歳、現在体重約550グラム）と一緒に生活しています。週末はもっぱら次男のサッカー観戦で関東中を回って

おり、そのため年中日焼けしております。三重県四日市市で生まれ、小学校は大阪、中学校は神戸の六甲学院、大学は滋賀医科大学を卒業いたしました。中学から大学卒業まで硬式テニス部に所属し、もっぱらテニスに明け暮れておりました。卒業して東京女子医大心臓血管外科に入局し、大学病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、松戸市立病院で研修後、カナダのトロント小児病院に留学いたしました。トロントでは2年間リサーチフェローとして小児心臓手術後のミトコンドリア機能について実験・研究を行い、臨床資格を得てから1年半はクリニカルフェローとして小児心臓手術のトレーニングを受けました。トロント小児病院でのクリニカルフェロー終了後、オーストラリアのメルボルンにあるロイヤルチルドレンホスピタルに移り、さらに1年半クリニカルフェローとして小児心臓手術の研修後、2010年に帰国いたしました。帰国後は神奈川県立こども医療センター、北里大学、和歌山県立医大、2021年3月までは群馬県立小児医療センターで働いてまいりました。

大学卒業後はほとんど関西に戻っておりませんが、関西弁がなかなか抜けません。初対面では標準語っぽい（自分でそう思っているだけかもしれませんが…）言葉を話すようにしていますが、親しくなったり、関西弁の方と話したりしていると関西弁にすぐ戻ってしまいます。そこで出身地を聞かれることが多いのですが、その際は必ず”神戸”と答えるようにしています。しかし実を言うと、両親は現在神戸市にありますが、私自身は住んだことはまったくありません。三重県四日市市で生まれ、福井県敦賀市、大阪市、兵庫県芦屋市で育ち、大学からは滋賀県草津市で一人暮らしでした。サラリーマンで転勤が多い家庭で育ったのがその理由ですが、この居住地の変遷を説明するのはかなり面倒ですので便宜的に両親が住んでおり、出身校のある神戸にしています。大学卒業後、大学病院のあった東京都新宿区に引っ越してから、東京都中央区、長野県南安曇郡、東京都台東区、千葉県松戸市と1-2年ごとに転々としてきました。その後、カナダ、オーストラリア、帰国後は横浜市南区、相模原市、横浜市青葉区、和歌山市、群馬県前橋市、栃木県下野市。数えてみるとなんとこれまで3国12都府県に居住してまいりました。（それでも抜けない関西弁の影響力には驚かされますが…）

さて自己紹介が長くなりすぎましたが…。小児・先天性心臓血管外科について少しご紹介させていた

できます。みなさんがあまり関わる機会がなく、馴染みのない分野かもしれません。文字通り、うまれつき心臓に病気をお持ちのお子さんの手術を行います。そのような病気をお持ちのお子さんはだいたい100人に1人生まれると言われています。意外と歴史が浅く、1950年代に初めて人工心肺装置を用いた開心術が行われるようになりました。それまでは生まれてすぐに命を落としてしまっていたお子さんや、心臓の負担や、チアノーゼといわれる酸素の不足などで長く生きていくことのできなかったお子さんが手術によって助かるようになりました。もちろん初期は手術成績も安定せず、どのような手術がいいのか術式も試行錯誤でしたが、次第に術式が揃い、手術成績が向上しました。とくにこの20年間で劇的な手術成績の改善、安定を遂げました。現在では全国で年間約9000例の手術が行われており、手術死亡率約4%といわれています。当センターでは年間約100例の手術を行い、現体制での手術死亡率は0.65%と手術成績は日本のトップレベルにあります。そのような心臓の手術を受けた、先天性心疾患をお持ちのお子さんが元気に育ち、多くが成人期を迎えるようになり、近年ではその遠隔期の問題点に注目が集まるようになりました。この新しい分野は成人先天性心疾患と呼ばれ、その患者数は50万人を超え毎年増加の一途をたどっています。我が国では多くの先天性心臓血管手術が各地域の小児病院で行われています。小児病院では入院に際して年齢制限があり、成人期になると近くの大学病院の循環器科などで経過観察が継続されています。再手術が必要な際にも大学病院には先天性を専門とする心臓血管外科医がいないなど、移行に関する問題点が多く存在します。日本では非常に珍しい大学病院併設型小児病院であるちぎ子ども医療センターはその利点を活かして、小児期は子ども医療センターで、成人期は大学病院内の成人先天性心疾患センターでシームレスに継続し診断、治療、外来経過観察を行うことができます。週一回行っている小児先天性心疾患カンファレンスには産科、新生児科、小児科、循環器内科、小児・先天性心臓血管外科の医師が参加し、出生前から全ての世代の先天性心疾患症例についてディスカッションしています。外科チームのメンバーは新しくなりましたが、これまでと同様に栃木県及び周辺地域のみなさんのお役に立てるようにチーム一丸となって精進してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



「仕事に関すること」 病院で相談できます

例えば

治療を受けながら
仕事を続けたい

以前と同じように
働けるか不安

いつ、どのように
仕事に復帰したら
いいか？

どのような支援
制度があるか？

職場に病気をどう
伝えたらいいか？

再就職したい

秘密厳守

十分な時間をご用意させていただくため、
事前に相談希望日時をお知らせいただくことをお勧めします。

お問合せ：患者サポートセンター（医療福祉相談室）

がん相談支援センター

脳卒中・心臓病総合支援センター

受付時間：午前9時～午後4時30分（月～金 ※休診日を除く）

場 所：本館1階 正面玄関西側 TEL：0285-58-7107（直通）



自治医科大学附属病院

治療と仕事の両立に関する相談会

定
着

在職中・休職中の方

両立支援促進員
(栃木産業保健総合支援センター)
による相談会

◇日 時：毎月第2水曜日
10:00～13:00

就
職

(再)求職中の方

就労ナビゲーター
(ハローワーク宇都宮)
による相談会

◇日 時：毎月第2水曜日
13:30～15:30

開催予定日 <毎月第2水曜日>

- ・2022年
4月13日 5月11日 6月8日 7月13日 8月10日
9月14日 10月12日 11月9日 12月14日
- ・2023年
1月11日 2月8日 3月8日

事前に相談希望日時を
お知らせください。

オンライン相談
できます!!



お問合せ：患者サポートセンター（医療福祉相談室）

がん相談支援センター

脳卒中・心臓病総合支援センター

受付時間：午前9時～午後4時30分（月～金 ※休診日除く）

場 所：本館1階 正面玄関西側 TEL：0285-58-7107（直通）



自治医科大学附属病院

自治医科大学附属病院医師同門会について

当病院では、OB医師を中心に「自治医科大学附属病院医師同門会」を組織し、総会・懇親会の開催や会報の発行等を行っております。

入会の条件は、「①自治医科大学附属病院で、医師・歯科医師として勤務経験があること、②同会の趣旨に賛同していただくこと」の2点のみです。会費は3年間で1万円です。

これを機会に是非入会をお勧めいたしますとともに、皆様方の周囲に当病院OB医師がおられるときは、当会の存在をご案内くださいますようお願いいたします。

入会に関する連絡・照会先は次のとおりです。

自治医科大学附属病院 医師同門会事務局（地域医療連携室内）

担当：松本、栗本

TEL 0285-58-7463・0285-58-7461 / FAX 0285-44-5397 / e-mail byoushin3@jichi.ac.jp

FAXによる患者様紹介について

当院では、FAXにより患者様の事前予約を行っております。事前にカルテの作成等事務手続きを済ませておくため、受診当日の患者様の事務手続きにおける待ち時間が短縮されます。是非ご利用いただけますようご案内いたします。

FAX 事前予約受付（休診日を除く）月曜日から金曜日まで 午前9時～午後3時

受付時間外にお送りいただいた申込書の対応は翌受付時間内での対応となります。

－ご注意－

- ◆ 医療機関以外（患者様本人等）からの予約受付は行っておりません。
- ◆ 受診当日の予約、および時間予約は行っておりません。
- ◆ 予約を変更（又は取消）される場合は、事前に紹介元医療機関から地域医療連携室までご連絡ください。
- ◆ セカンドオピニオン・治験の予約は、FAXによる受付は行っておりません。

< FAX 予約のご利用方法 >

1. 「FAX診療予約申込書」を作成し、当院あてにFAX送信してください。FAX診療予約申込書は、当院のホームページ（<http://www.jichi.ac.jp/hospital/>）よりダウンロードできます。
※腎臓外科・小児外科は「紹介状（診療情報提供書）」を併せてFAXしてください。
2. 当院では予約をお取りし、「FAX診療予約申込書」を返信します。
3. 患者様に「紹介状（診療情報提供書）」と「FAXによる診療予約票」をお渡しください。
4. 来院日には、「紹介状（診療情報提供書）」と健康保険証を持参し、医事課・FAX紹介状提示窓口に提示するようご案内をしてください。

